

難治性緑内障のために受診中あるいは受診経験のある  
患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター眼科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

バルベルト緑内障インプラントとアーメド緑内障バルブの術後成績の比較

【研究の目的】

バルベルト緑内障インプラントやアーメド緑内障バルブを用いた手術は、従来の緑内障手術では眼圧が下がりにくい難治性緑内障に対して行われます。

当院では2014年からバルベルトインプラントを、2018年からアーメドバルブを使用しており、術後どれだけ眼圧が下がったか、またどのような合併症が生じたかを確認する必要があります。

今回の研究は2014年から当院でバルベルト緑内障インプラントまたはアーメド緑内障バルブを用いた手術を行い、2年間以上の経過が終える患者さんのカルテを調査し、バルベルトインプラントやアーメドバルブを使用する臨床意義を検討し、今後の手術の成績向上につなげたいと考えています。

【対象となる方】

2014年4月から2021年3月の間に、バルベルト緑内障インプラントまたはアーメド緑内障バルブ手術を行った方

【使用する検体・診療情報】

使用する診療情報は手術から2年後までの以下の項目です。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

年齢、性別、手術日、検査結果（視力・眼圧）、眼圧を下げるために使用した点眼や内服薬の数、術後に起きた合併症、術後に追加した緑内障手術

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長許可日（2024年5月9日）から2024年12月31日まで実施され、91名の患者さんが対象となっています。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果はDokkyo medical journalへ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 眼科 町田 繁樹（教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 眼科 担当者：平井 鮎奈（学内助教） PHS 1621

電話番号：048-965-8659（医局直通） 受付時間帯：平日午前9時～午後5時

以上